

アプリは公式サイトから！

1. 公式サイトとは？

- ・そのアプリを作った会社の正式なウェブサイト

＜具体例＞

- ・Adobe Photoshop → Adobe公式サイト
- ・Microsoft Word → Microsoft公式サイト
- ・ウイルス対策ソフト → 各メーカーの公式サイト

2. 安全なダウンロード先

①公式サイト 偽サイトに注意！以下の点を確認

- ・会社名が正しく表示されている
- ・URLの始めが「https」、アドレスバーに鍵マーク
- ・URLの終わりが「.jp」「.com」など見慣れたもの

②公式アプリストア

- ・Google Play (Android)
- ・App Store (iPhone/iPad)
- ・Microsoft Store (Windows)

3. 絶対に避けるべき場所

- ・「無料でダウンロード！」の怪しい広告
- ・知らないサイトからの「特別版」
- ・メールで送られてきた添付ファイル
- ・USBメモリで持ち込まれたアプリ



IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）の情報セキュリティ教材
動画「華麗なる情報セキュリティ対策 #7『ソフトウェアをインストールする際の注意』」
も参考にしてください。

https://www.youtube.com/watch?v=OMFI-BiK3rM&list=PLi57U_f9scIJJPYjMPHEFq7swlnhwOFsb&index=7

安全なアプリを使おう！～会社と自分を守るために～

1. お客様からお預かりした大切なデータ

印刷会社で働く私たちが守るべき大切なもの

- ・新商品のパンフレット
- ・個人情報が含まれた資料、名刺
- ・機密性の高い企業資料



2. なぜアプリの安全性が重要なのか

- ・1つの危険なアプリが、会社全体、サプライチェーン全体に影響を与える可能性
- ・お客様の信頼を失うリスク
- ・自分の仕事にも大きな支障

3. 今日学ぶこと

- ・簡単な3つのルールを覚えて、安心・安全に働きましょう！

出所不明のアプリが引き起こす問題

1. ウイルス感染で起こること

① パソコンが突然動かなくなる

- ・製造ラインが止まってしまう
- ・納期に間に合わない

② 大切なデータが消える

- ・作成中のデザインデータが失われる
- ・バックアップがない場合は復旧不可能



2. 情報漏洩の恐ろしさ

① お客様の個人情報盗まれる

- ・名刺データ、住所録が外部に流出
- ・法的責任を問われる可能性

② 印刷データが外部に流出

- ・未発表の商品情報が漏れる
- ・企業秘密が競合他社に知られる

3. 会社への深刻な影響

① お客様からの信頼失墜

② 損害賠償請求

③ 最悪の場合、業務停止



今日から実践！ 3つの約束

1. ダウンロード前に必ず確認（チェックポイント）

- ☐ 会社で使用が許可されているアプリ？
- ☐ そのアプリは本当に仕事に必要？
- ☐ 公式サイトからダウンロードしている？

迷ったときの合言葉

急がば回れ！確認してから！

2. 怪しいと思ったら必ず相談

・相談先

直属の上司、情報システム担当者、先輩社員

こんなときは要注意！

- ・「今だけ無料！」の誘惑的な広告
- ・「このアプリで作業効率アップ！」などの不明なメール
- ・友人から「便利だよ」と勧められた聞いたことのないアプリ

3. 会社のルールを必ず守る

＜基本ルール＞

勝手にアプリをインストールしない

許可されたアプリのみ使用する

個人的な用途でのアプリ使用は控える

覚えておこう

みんなで守れば、みんなが安心！

